
天に舞うは九つの尾っぽ

櫻塚森

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天に舞うは九つの尾っぽ

【Nコード】

N2859Z

【作者名】

櫻塚森

【あらすじ】

地獄堂霊界通信の二次創作です。

香月日輪先生の作品が大好きでとうとう手を出してしまいました。竜也兄ちゃんLOVEなため、竜也兄ちゃんの彼女を作ってしまった。いや、まだ彼女ではないですが。

原作の色を壊さないよう、文章などは参考にしながら書いていけたらと思います。甘酸っぱい感じとちょいとエッチな感じが出したいなあと思ったり？

九尾の狐って知ってるかい？

その名の通り。尾っぽが九つに分かれています狐のことよ。

もちろん、尾っぽが分かれているなんて、普通じゃない。

力を秘めた動物は、長く生きる度にその尾が分かれていくんだ。

猫又ってやつも尾が分かれているだろう？

百年生きると2つに分かれる尾。

九つも尾が分かれているってことは、かなりの時を生きているってことで、それだけ力も強い。

そこまで生きてる狐は、神仏に帰依するか、闇に下るか。

どちらにしろ、この世のものではないんだよ。

くわばら、くわばら。

「祐介！祐介！」

いつもエレガントで優雅な美麗母ちゃんが椎名の住む高級マンションに駆け込んできた。

今日は、てっちゃんやリョーチンもいて、いつも優雅な美麗母ちゃんその様子に目を丸くした。

「どうしたんだ？母ちゃん。」

美麗母ちゃんは部屋に入るときゅっと彼を抱きしめ、その勢いでてっしやリョーチンをも抱きしめた。

美麗母ちゃんのいい香りにてっしとリョーチンはどきっと心臓が高鳴った。

やっぱり、自分たちの母ちゃんとは違うなあと。

「やっつと、やっつと決心してくれたの！雅ちゃんが！！」

心底嬉しそうな美麗母ちゃん言葉に椎名だけが目を見開いていた。

「雅姉ちゃんが、本当？」

「そうよ、やっとうちの子になってくれるって！」

てつしとリョーチンは顔を見合わせてチヨンチヨンと椎名の肩を突付いた。

美麗母ちゃんは、スキップしそうな勢いで部屋から出て行った。

「ミヤビ姉ちゃんって誰？」

そう尋ねたりョーチンは可愛く小首をかしげている。

彼の問いに椎名は珍しく興奮したような紅潮した顔で言った。

「雅姉ちゃんって言うのは、母ちゃんの妹の美鈴おばちゃんの子供。つまり、従妹さ。けど一昨年、おばさんとおじさんが事故で亡くなつて。母ちゃんは、雅姉ちゃんを引き取りたいって言ってたんだけど、色々あってさ、中々決まらなくて。」

「じゃあさ、椎名の姉ちゃんになるってことか？」

てつちゃんの言葉に椎名はにっこりと笑った。

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2859z/>

天に舞うは九つの尾っぽ

2011年12月10日01時48分発行